

## 総政－１ ほっかいどう応援団会議「道ファン子キャンペーン」 を実施します。

道では、北海道にゆかりや想いのある企業・団体・個人の方々の知恵と力を結集して、本道が抱える様々な課題を解決していくため、「ほっかいどう応援団会議」を立ち上げています。

このたび、「ほっかいどう応援団会議」の個人会員「道ファン子（どふぁんこ）」の拡大を図るとともに、コロナ禍で来道の機会が減少している北海道ファンの想いをつなぐため、公式 LINE でプレゼントキャンペーンを実施します。

LINEでお友達登録をして、「北海道でおすすめの場所や行ってみたいところ」のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で素敵な景品をプレゼント！この機会にぜひご登録ください。

### 【キャンペーン概要】

■キャンペーン名：すきすき大すき北海道 想いをつなぐ道ファン子キャンペーン

■期間：令和4年2月8日(火)～3月9日(水)

■実施内容：①ほっかいどう応援団会議のLINE公式アカウントからお友達登録

②LINEトーク画面のリッチメニューにある「応募フォーム」をタップ

③応募フォームに「北海道でおすすめの場所や行ってみたいところ」をご入力いただきエントリー完了

※抽選・発送は3月下旬予定です。当選者には、お名前・ご住所等発送に必要な情報を別途お伺いします。

■景品：道のふるさと納税返礼品お試しセット（5,000円相当）

【A賞】北海道米「無洗米プレミアムギフト」 20名様

【B賞】北海道ワイン 20名様

【C賞】「北のハイグレード食品」詰め合わせ 20名様

▼「ほっかいどう応援団会議」公式サイト

□<https://hkd-ouendankaigi.jp>

【問い合わせ】

□ 総合政策部官民連携推進室

□ 電話 □ 011-204-5158

□ メールアドレス □ [hokkaido.ouen@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:hokkaido.ouen@pref.hokkaido.lg.jp)

## 総政一 2 統計調査（経常調査）にご回答をお願いいたします

総務省統計局・北海道では、次の統計調査を定期的に行っています。

調査結果は、国民の共有財産として、日本経済の発展や国民生活の向上のために活用されています。

### ◆ 労働力調査（毎月実施、対象は世帯）

男女・年齢別の就業率や完全失業率など就業・不就業の実態を明らかにする調査です。

全国約40,000世帯を対象に調査しており、道内では、32市69町6村で実施しています。

### ◆ 家計調査（毎月実施、対象は世帯）

世帯の収入・支出など家計収支の実態を明らかにする調査です。

全国約9,000世帯を対象に調査しており、道内では、10市町で実施しています。

### ◆ 小売物価統計調査（毎月実施、対象は店舗・事業所、世帯、宿泊施設）

商品の小売価格、サービス料金、家賃などの物価を明らかにする調査です。

約540品目、約860銘柄の価格・料金を調査しており、道内では、9市2町で実施しています。

※ 皆様の個人情報は厳重に保護されます。

「統計法」で統計調査員には、厳格な守秘義務が課せられていますので、調査の内容が漏れるようなことはありません。

### ▼総合政策部計画局統計課公式サイト

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/index.html>

### 【問い合わせ】

総合政策部計画局統計課企画情報係

電話 011-204-5143

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/index.html>

## 総政－3 道総研 エネルギー・環境・地質研究所 イベント情報

○2/12 シンポジウム「野生の営みのダイナミクスに迫る  
～世界遺産シリエトクのヒグマとエゾシカ」を開催します！

野生動物と人間との共存を図り、  
知床の素晴らしい自然を次世代に引き継いでいくために、  
当研究所ほか関係機関において取り組んでいる様々な調査研究結果をご紹介します。  
なお、本シンポジウムは（独）環境再生保全機構 環境研究総合推進費  
「遺産価値向上に向けた知床半島における大型哺乳類の保全管理手法の開発」  
【4－1905】の一環として開催されます。

日 時 令和4年（2022年）2月12日（土） 13：30～16：30

会 場 北海道大学学術交流会館小講堂（札幌市北区北8条西5丁目）  
及び ZoomWebinar（ハイブリッド開催）

演 題 「知床の野生をめぐる歩み」

（公財）知床財団 特別研究員 山中 正実

「はたしてヒグマは何頭いるのか？ ～数から読み解くヒグマの生態」

北海道大学 准教授 下鶴 倫人

「海へ山へと大忙し！ ～知床のヒグマの食物事情」

（地独）北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所  
研究職員 白根 ゆり

「ヒグマとの攻防戦？ ～知床のエゾシカの過去と現在」

（公財）知床財団 部長 石名坂 豪

「エゾシカの生存戦略 ～なぜ高密度が維持される？」

東京農工大 教授 宇野 裕之

その他 コロナ禍の状況によっては、オンライン開催のみとなる場合があります。

主 催 東京農工大学、（地独）北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究  
所、北海道大学大学院獣医学研究院、（公財）知床財団

後 援 環境省、北海道、（一社）日本哺乳類学会

▼詳細及び申し込みについては次のホームページをご覧ください。

<https://www.hro.or.jp/list/industrial/research/eeg/pr/topics/1206972.html>

▼道総研 エネ環地研ホームページ

<https://www.hro.or.jp/eeg.html>

○3/9 「第60回試錐研究会」を開催します！

道内のボーリング及び地質調査業務に携わる技術者の技術を向上し、関連業界の発展に寄与するため、関連分野の最新技術に関する講演会を開催します。

- 日 時 令和4年(2022年)3月9日(水) 13:00~17:30  
会 場 北海道立道民活動センター(かでの2.7)1階「かでのホール」  
(札幌市中央区北2条西7丁目)及びZoomWebinar(ハイブリッド開催)
- 演 題 記念講演 「地質調査業のこれまでの10年、これからの10年」  
応用地質株式会社 代表取締役社長 成田 賢  
「気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害リスクに向けて」  
北海道大学大学院工学研究院土木工学部門  
自然災害適応分野 地盤環境解析学研究室 教授 石川 達也  
「災害から学んだ地下水の有効性」  
株式会社アクアジオテクノ 代表取締役社長 石塚 学  
「地熱開発の世界動向・国内動向とJOGMECの役割」  
(独法)石油天然ガス・金属鉱物資源機構  
特別審議役 安川 香澄
- 情報提供 「掘削技術専門学校の設立と教育計画」  
学校法人ジオパワー学園 理事 島田 邦明
- その他 コロナ禍の状況によっては、オンライン開催のみとなる場合があります。  
主 催 (地独)北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所  
協 賛 (一社)北海道地質調査業協会、(一社)全国さく井協会北海道支部  
後 援 (一社)日本応用地質学会北海道支部、(一社)資源・素材学会北海道支部、  
北海道地域産業技術連携推進会議

▼道総研 エネ環地研ホームページ

<https://www.hro.or.jp/eeg.html>

〇3/12~13 「ジオ・フェスティバル in Sapporo 2021」に出展します！

北海道の将来を担う子どもたちに、科学する姿勢を育成することをねらいに、地球科学に関連した実験や展示、講演などを通じ、自然の不思議やメカニズムを学ぶイベントとして開催されるジオ・フェスティバルに出展する予定です。

- 期 日 令和4年(2022年)3月12日(土)、13日(日)  
会 場 札幌市青少年科学館 2階特別展示室  
(札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20)
- その他 コロナ禍の状況によっては、変更される場合があります。  
主 催 ジオ・フェスティバル in Sapporo 実行委員会  
共 催 札幌市青少年科学館、北翔大学  
後 援 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、

(地独) 北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所

▼ジオ・フェスティバル in Sapporo 公式サイト

[https:// sites.google.com/view/geo-festival-sapporo/home](https://sites.google.com/view/geo-festival-sapporo/home)

▼道総研 エネ環地研ホームページ

<https://www.hro.or.jp/eeg.html>

【問い合わせ】

(地独) 北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 研究推進室研究情報 G

電話 011-747-2427

<https://www.hro.or.jp/eeg.html>

## 総政一４ 知っていますか？ 道の「苦情審査委員」制度

- 道が行った業務や制度の内容を審査する制度が、「北海道苦情審査委員」制度です。
- 皆さん自身の利害に関する苦情であれば、苦情審査委員に申立てができます。
- 皆さんに代わって、苦情審査委員が公正で中立的な立場から、道の関係機関に対し、必要な調査等を行います。
- 審査の結果、道の業務に不備な点や制度に問題があるときは、道の機関に是正や改善を求めます。
- もちろん、個人情報の保護にも十分配慮します。

①苦情申立ての窓口は、道庁の道政相談センターか各総合振興局（振興局）の総務課。

②苦情申立書及びリーフレットを用意しています。

③道のホームページからでも申立書をダウンロードできます。

→トップページの「ご案内」の お問合せ・相談窓口

→「その他のお問合せ・各種相談窓口」の 苦情審査委員の窓口

→「苦情審査に関すること」の 苦情申立の窓口

→「苦情申立の窓口」の 苦情の申立てについて（申立書はこちら）

④苦情申立書に必要な事項を記入し、苦情申立ての窓口に提出してください。

また、郵送、ファックス、メールでも申立てができます。

⑤問い合わせ先

- ・北海道総合政策部知事室道政相談センター

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL 011-204-5523（直通）

FAX 011-241-8181

メール [kujyou.koueki@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:kujyou.koueki@pref.hokkaido.lg.jp)

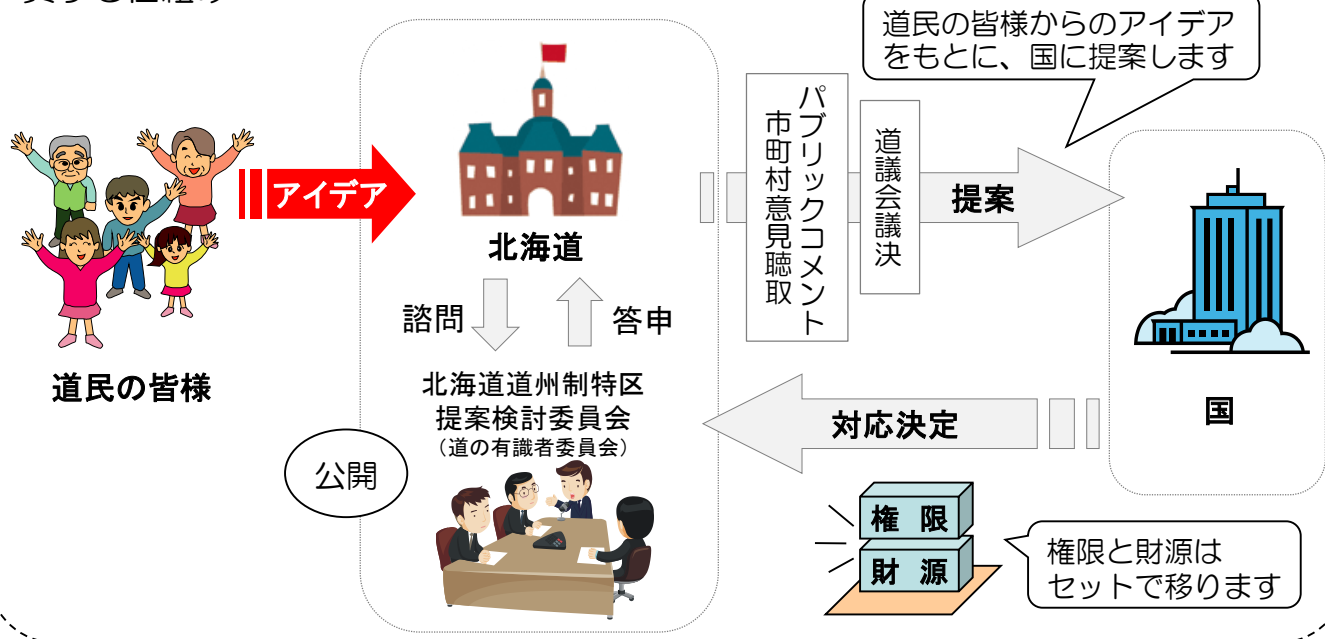
- ・各総合振興局（振興局）総務課

# 道州制特区提案のアイデア募集中!

- 道では、国から道への権限移譲や規制の緩和などを求める提案を国に対して行うため、広く道民の皆様のアイデアを募集しています!

道州制特区制度とは

特定広域団体（現在は北海道のみ）からの提案を受けて、国から特定広域団体への事務・事業の移譲や規制の緩和などを進めることで、将来の道州制導入の検討に資する仕組み



- これまでに33項目を国に提案し、28項目が実現（5項目は継続検討）
- 実現した道民アイデアの例

（平成19年12月提案）

## 水道法に基づく監督権限の移譲

給水人口等の基準により、国と道に分かれている水道事業者等の監督権限を、道に移譲してほしい（水道の事故が起きた時に、道は国が所管する水道事業者への対応ができない。）。

くらしの  
安全・安心  
の確保

### 国の対応（平成21年1月政令改正）

監督権限が道に移譲され、道が道内全ての水道事業者の監督を行えることとなった。

（平成23年10月提案）

## ふるさと納税のコンビニでの収納

ふるさと納税制度をより手軽に活用できるように、24時間営業しているコンビニエンスストアでの納税（寄附）を可能にしてほしい。

支え合い  
による地域  
社会づくり

### 国の対応（平成23年12月政令改正）

私人に徴収・収納事務を委託することができる公金に「寄附金」が追加となり、コンビニエンスストア等でのふるさと納税が可能となった。

- アイデア提出方法・提出先

- (1) 郵便 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 北海道総合政策部地域行政局行政連携課
- (2) ファクシミリ 011-232-1126
- (3) 電子メール sogo.gyourenbunkendousyu@pref.hokkaido.lg.jp

道州制特区に関する詳細な情報を、道のホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/cks/bunken/doushuusei-top.html>